

門司港レトロで出来たてを愉しむ、ご当地ビール！



大正元年より100年目の今年、まさかこのビールが蘇るとは...
大正時代、門司で誕生した九州産最初のラガービール



サクラビール

復刻



●サクラビールとは・・・

大正二年、九州最古のビール工場が帝国麦酒㈱により我が町・門司に誕生した。醸造していたビールの名は「サクラビール」。国際港、鉄道の要所でもあったこの地から、国内外の需要は拡大し、東京銀座、大阪道頓堀にもその名のネオンが灯された。
(最盛期には、国内シェア約9%、国内第3位となった。)

昭和に入り、帝国麦酒㈱より、桜麦酒㈱、大日本麦酒㈱へ経営が移り、昭和17年頃まで製造されていた。そのサクラビールが姿を消して約70年、今初めて復刻される。

●ビールの特徴

当時のサクラビールの成分表をもとに、その特徴を再現。「糖度高く、芳醇なる香味。淡い琥珀色にて色沢鮮麗」 麦の味わいが香ばしく深い。赤く艶やかで透通った色合い。
(サクラビールの成分表はサッポロビール㈱に特別に許可を得て拝見させて頂いた。)

●瓶ビールラベル

大正時代に使用されていた本物のラベル(右記)を中央に使用。ビール工場全景と行き交う船で賑わう関門海峡が描かれており、当時の様子が伺えるラベルとしてビール産業史でも多く紹介。



↓樽詰めしたラベル。襷も樽き。そんな趣デザイン。

●復刻期間(発売期間)

平成23年4月3日 平成24年3月下旬(1年間限定販売)

●登録商標について

「サクラ」「SAKURA」はサッポロビール㈱の登録商標です。サクラビールは門司港地ビール工房が使用許諾を受け製造しました。

日本一のビールが誕生しました。

ジャパンアジア ビアカップ2011

金賞

WEIZEN
ヴァイツェン



人気の高い激戦部門
ヴァイスビール部門



全国規模のビール品評会「ジャパンアジア ビアカップ 2011」が平成23年5月15日に開催され、6月5日「ジャパンビアフェスティバル 2011」で審査発表及び表彰式が行われました。北九州唯一のビール醸造所として出品した「門司港地ビール工房 ヴァイツェン」が人気が高く出品数の多いヴァイスビール(ドラフト：樽出し)部門に於いて、最高賞である金賞を受賞しました。これにより「日本一美味しいヴァイツェン ドラフトビール」が、門司港レトロに誕生しました。

●「ジャパンアジア ビアカップ 2011」

(全国のマイクロブルワリーを中心に1998年より毎年開催されているビール品評会)

主 催：日本地ビール協会 日本ビアテイスター協会

審査対象：日本およびアジアで販売されている全てのビール・発泡酒

審査委員：田村 功(マスタービアジャッジ)、チャーリー・ババシアン(米国ブルワリー協会)

出品数：各部門総計144銘柄(54社)

お問合せ先

ビアレストラン 門司港地ビール工房

北九州市門司区東港町6-9(門司港レトロ：はね橋そば) TEL(093)321-6885